

平成28年度 第1回(7月)学校評価

鹿児島県立甲南高等学校

●回答数

【生徒】	1学年	320名	2学年	314名	3学年	306名	合計	940
【保護者】	1学年	286名	2学年	254名	3学年	271名	合計	811
【職員】	64名							

●回答方法

各項目について4段階で評価

「4」よくあてはまる 「3」ややあてはまる 「2」ややあてはまらない 「1」全くあてはまらない

●データ結果の見方

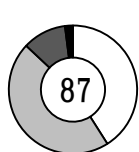
数値は%表示。各項目の円グラフの中心の数値は肯定的回答(「4」、「3」)の合計値である。

1. 教育方針に関する評価

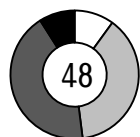
【I】スクールアイデンティティ

生徒1 本校の教育は、「地球規模でものを考え行動するリーダー」の育成を目指したものにしている。

生徒9 将来「地球規模でものを考え行動するリーダー」となることを意識した学校生活を送っている。



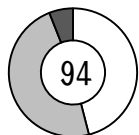
	1年	2年	3年	全体
4	46	42	37	41
3	44	43	50	46
2	8	13	12	11
1	2	2	1	2
無	0	0	0	0



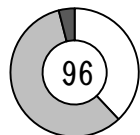
	1年	2年	3年	全体
4	11	11	9	10
3	38	36	40	38
2	43	42	42	43
1	8	11	9	9
無	0	0	0	0

保護者1 本校の教育は、「地球規模でものを考え行動するリーダー」の育成を目指したものにしている。

職員1 「地球規模でものを考え行動するリーダー」として、高い志を持った品格ある生徒を育成することを意識し、教育活動(教科指導・進学指導・生徒指導・学級経営等)を行っている。



	1年	2年	3年	全体
4	53	41	42	46
3	42	51	52	48
2	5	8	6	6
1	0	0	0	0
無	0	0	0	0

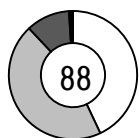


	職員
4	38
3	58
2	4
1	0
無	0

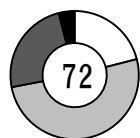
【II】SGH指定

生徒2 SGH指定校としての取組が、将来のグローバルリーダーとなり得る甲南生を育成する取組となっている。

生徒10 KIプロジェクト(W-KIプロジェクト)に主体的に取り組み、望ましい自己実現に役立っている。

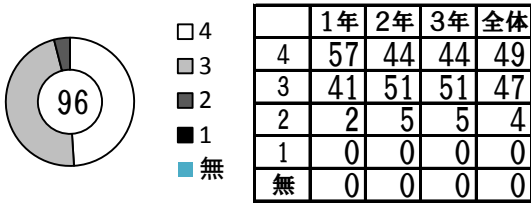


	1年	2年	3年	全体
4	51	39	38	43
3	41	46	47	45
2	7	13	13	11
1	1	2	2	1
無	0	0	0	0



	1年	2年	3年	全体
4	22	19	21	21
3	58	47	47	51
2	19	27	27	24
1	1	7	5	4
無	0	0	0	0

保護者2 SGH事業の取組が、将来のグローバル・リーダーとなり得る甲南生を育成している。



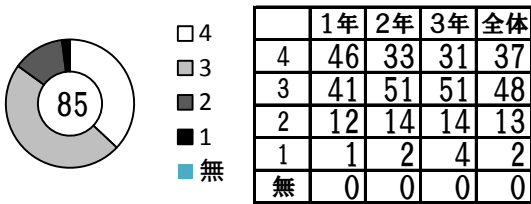
職員2 県内唯一のSGH指定校であることを自覚し、その着実な取組を通して、将来のグローバル・リーダーとなり得る甲南生としての意識付けを図っている。



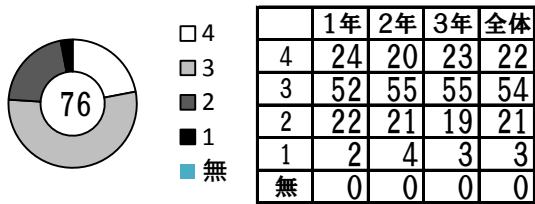
2. 教科に関する評価

【I】学習活動への取組

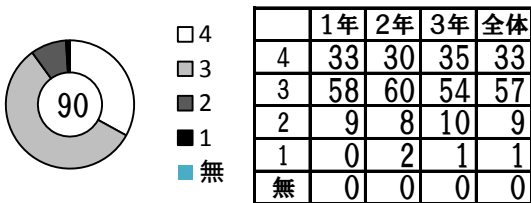
生徒3 本校の授業や課題は、適切な計画に基づいて内容・レベル・進捗等が設定され、生徒個々の能力を伸ばすものになっている。



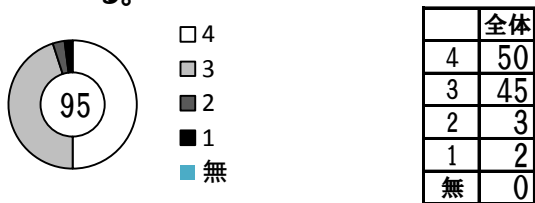
生徒11 予習・復習をしっかりと積極的に授業に臨み、課題等にも確実に取り組むことで学力向上に努めている。



保護者3 本校の授業や課題は、適切な計画に基づいて内容・レベル・進捗等が設定され、生徒個々の能力を伸ばすものになっている。

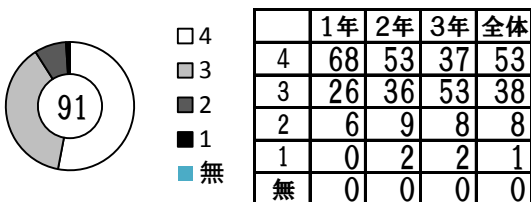


職員3 各教科内で適切に年間計画・目標を設定し、連携して基礎基本の確実な定着を図るとともに、思考力・判断力・表現力の育成に効果的な授業を工夫している。

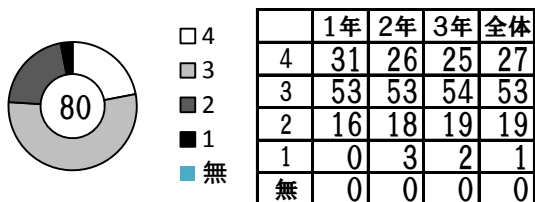


【II】自己表現力の向上

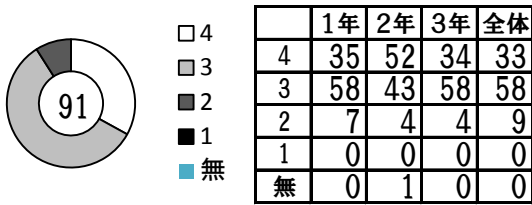
生徒4 本校の授業は、生徒が自分の考えを自分の言葉で表現し伝える活動を多く採り入れている。



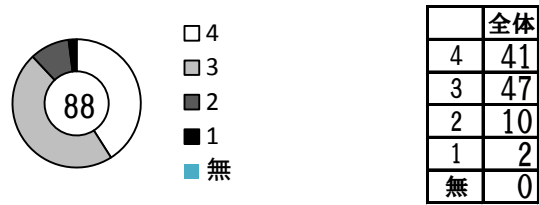
生徒12 授業を通して、自分の考えを自分の言葉で表現し他者に伝える力の向上に努めている。



保護者4 本校の授業を通して、自分の考えを自分の言葉で表現する力が生徒に育成されている。



職員4 積極的に生徒参加型授業を採り入れ、生徒が自分の考えを自分の言葉で表現し、伝える活動を工夫している。



【Ⅲ】その他

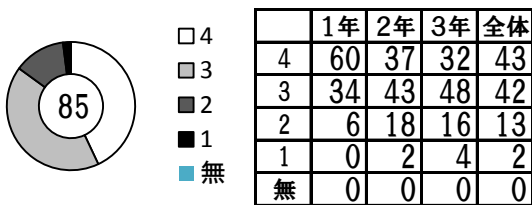
職員5 学校評価を活用した授業改善に取り組んでいる。



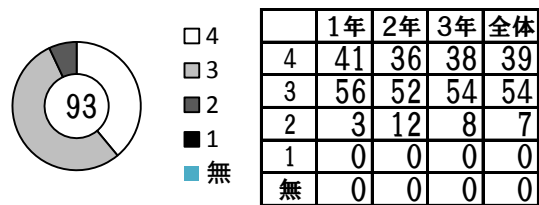
3. 生活指導に関する評価

【Ⅰ】主体性・自主性の涵養

生徒5 生活指導における学校の取組は適切で、生徒の主体性・自主性を養うのに役立っている。



保護者5 生徒指導における学校の取組は適切で、生徒の主体性・自主性を養うのに役立っている。

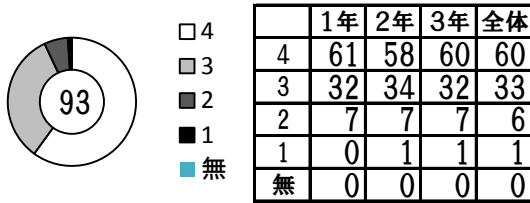


職員6 生徒の主体性・自主性の確立を目的とし、生徒・保護者・教師の信頼関係のもと、積極的な生徒指導を行っている。

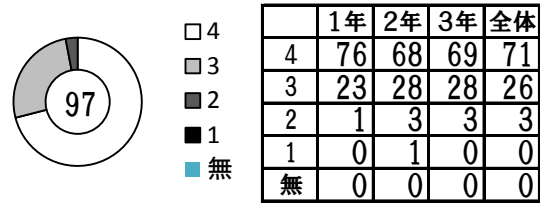


【Ⅱ】生活面における生徒自己評価

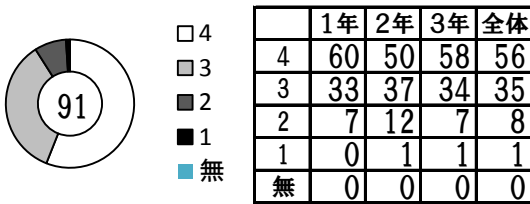
生徒13 時間を守り、服装や挨拶をしっかりとするなど、基本的な生活習慣が身についている。



生徒14 交通ルールや社会のマナーを守っている。



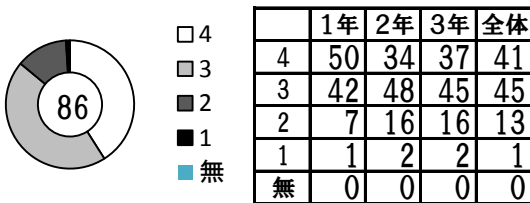
生徒15 自分の健康に関心を持ち、体調管理に努めている。



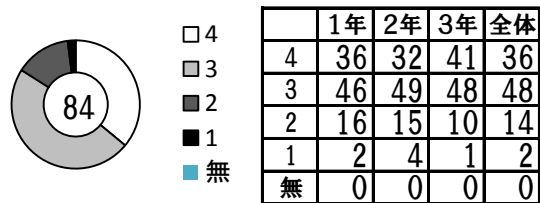
4. 進路指導に関する評価

【Ⅰ】職業観の涵養

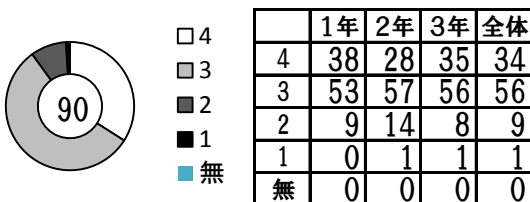
生徒6 本校の進路指導は、生徒に将来どのように社会と関わっていくかを意識させ、学習に取り組む意欲を向上させるものである。



生徒16 将来の職業や生き方について真剣に考え、自己実現のために意欲的に学習に取り組んでいる。



保護者6 本校の進路指導により、生徒は将来どのように社会と関わっていくかを意識し、学習に取り組む意欲が向上している。

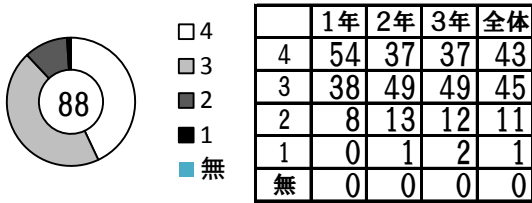


職員7 キャリア教育の視点に立った進路学習を計画的に進め、主体的に進路選択できる力を養うとともに、学習意欲の向上を図っている。

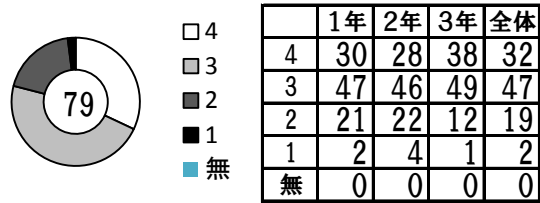


【Ⅱ】3ヶ年を見据えた進路指導

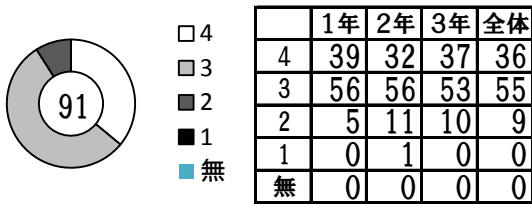
生徒7 本校の進路指導は、それぞれの時期に応じた適切な指導により、生徒の可能性を伸ばすものである。



生徒17 提供される資料や助言を元に、主体的に進路選択を行っている。



保護者7 本校の進路指導は、それぞれの時期に応じた適切な指導により、生徒の可能性を伸ばすものである。

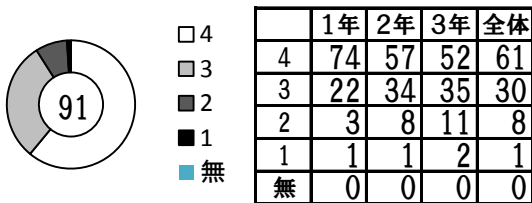


職員8 綿密な現状分析と実態把握を行い、より高い進路目標を達成できるよう戦略的に取り組んでいる。

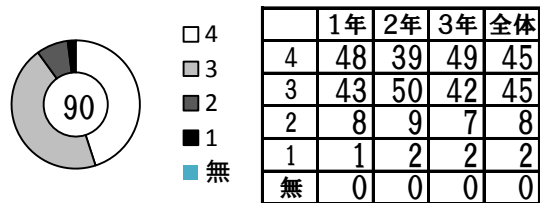


5. 環境整備に関する評価

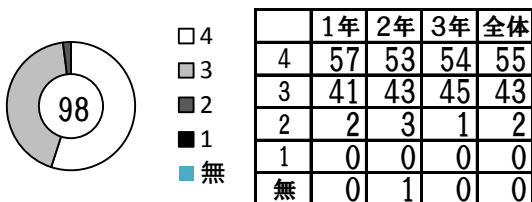
生徒8 学校は、生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、施設・設備の整備に取り組んでいる。



生徒18 学習環境を整えるため、教室等の環境美化(整理整頓・清掃等)に努めている。



保護者8 学校は、生徒が安心・安全に学校生活を送れるよう、施設・設備の整備に取り組んでいる。



職員10 生徒が安心・安全に学校生活を送れる環境の整備に取り組んでいる。



6. 校務分掌に関する評価

職員9 課題や問題点の工夫・改善に努め、組織的・計画的に業務を遂行している。



7. 学級経営に関する評価

生徒19 保護者に渡さなければならない学校からの配布物はきちんと渡している。



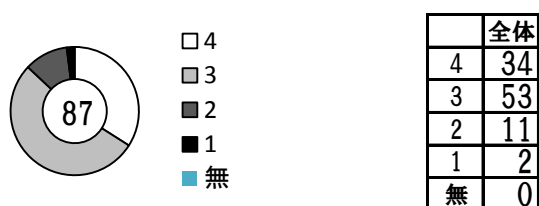
保護者9 学校は、遅刻・欠席等の連絡について、保護者との連携が十分に取れている。



保護者10 学校は、学校行事やPTA活動に関する情報や校内での生徒の様子についての情報を適切に保護者に提供している。



職員11 充実した学校生活を送れるよう、保護者と連携して基本的な生活習慣の確立を図っている。



職員12 学校行事やPTA活動、校内・生徒の様子に関する情報が保護者に伝わるよう、適切な配慮をしている。

